

<特集1> 中高一貫校について

1 中高一貫教育導入のねらい

社会が加速度的に変化し続け、将来の予測が極めて難しい時代において、様々な人と協働しながら、答えのない課題に対して、失敗を恐れずにチャレンジし、社会に変化を起こす人「**チェンジ・メーカー**」を育成する。

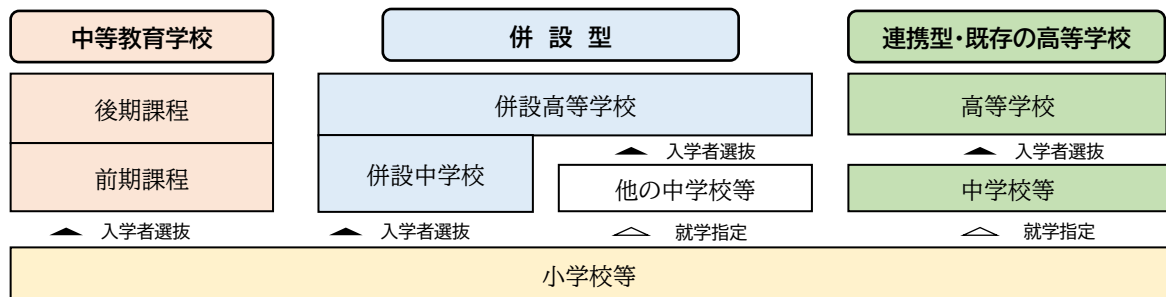
愛知県教育委員会は、中高一貫教育について、第一次導入校として**4校を令和7年度**、第二次導入校として**7校を令和8年度**に導入することを決定した。

チェンジ・メーカーを育てる

- ・ 自分らしさの探究と創造・チャレンジ
- ・ 一人一人異なる個性をもつ子供たちの可能性を最大限引き出す学びの実現
- ・ 誰もが社会の変革者となる学びの推進

2 中高一貫教育の実施形態と特例措置について

類型	内容
中等教育学校	一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行う。
併設型の中学校・高等学校	高等学校入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高等学校を接続する。
連携型の中学校・高等学校	市町村立中学校と県立高等学校等、異なる設置者間でも実施可能な形態で、中学校と高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施する。



中高一貫教育の利点を生かして6年間を通じた特色あるカリキュラムを編成することができるよう以下の①②のように**特例措置**が設けられている。

① 指導内容の移行

- 中学校と高等学校の指導内容の一部を、相互に入れ替えることが可能
 - 中学校の指導内容の一部を、高等学校へ移行することが可能
 - 高等学校の指導内容の一部を、中学校へ移行することが可能 (いわゆる「先取り」)
- ※この場合、高等学校で再履修しないことが可能

② 選択教科による各教科の代替

各学年において各教科の授業時数を、年間70単位時間の範囲内で減じ、内容を代替できる選択教科の授業時数に充てる事が可能

※ただし、授業時数から減ずる授業時数は、一教科当たり35単位時間までが限度

愛知県が取り組む中高一貫教育では、**探究を深めるための「先取り」**は行いますが、大学受験に特化した「先取り」は行いません。

【用語集】

- ※1 SSH: スーパーサイエンス/イノベーションの略。先進的な理数教育を実施し、創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等を実施
- ※2 AGH: あいちグローバル/イノベーションの略。英語教育の拠点となる高校を指定し、英語を高いレベルで使いこなす人材を育成する取組を実施
- ※3 国際バカロレア: 国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム。詳細は、文部科学省「教育推進コンソーシアムHP」を参照
- ※4 あいちスーパーイングリッシュハブスクール: 英語の使用機会を増やし、コミュニケーション能力を育成する指導法を研究し、他校に広める取組
- ※5 西尾学: 西尾高校が行っている、国際交流や地元のことを学ぶ取組
- ※6 グローカル: グローバル(global:地球規模の)とローカル(local:地域的な)を合わせた言葉
- ※7 連携型選抜: 連携する高校へ志願する場合に実施。「志願理由書」及び「学習のまとめ」の内容や面接の結果を資料として、総合的に判断する選抜方法

3 各中学校の特徴について

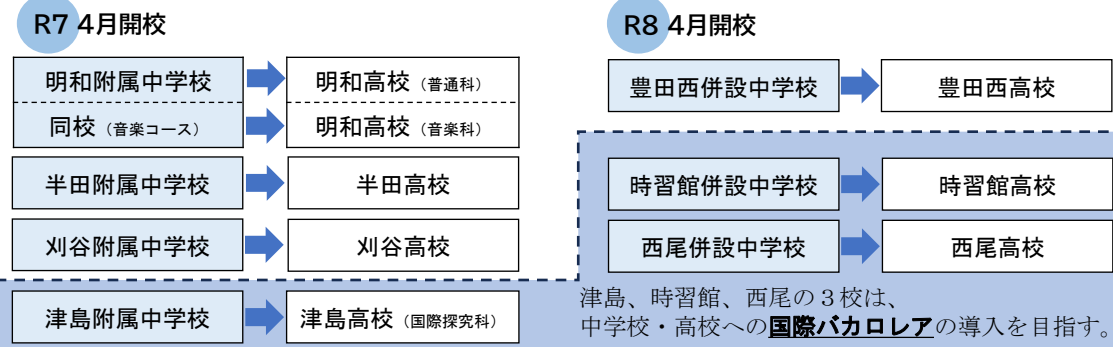
探究学習重視型

高校受験の影響を受けないゆとりある環境の中、課題解決型学習を重視して生徒の学習意欲や探究心を引き出す。各高校が独自で取り組んでいる教育課程をベースに次のような特徴を生み出す。

明和、半田、刈谷、豊田西、時習館では、高校のSSH^{※1}で行っている研究を中学段階から時間をかけて取り組み、生徒が研究テーマを探究し、実験等で試行錯誤しながら自律的な探究学習を促進する。また、時習館においては、AGH^{※2}の取組を踏まえ、**国際バカロレア**^{※3}の導入を目指す。

津島では、高校の国際理解コースでの取組をベースに国際的な視点をもって探究的な学びに取り組み、**国際バカロレア**の導入を目指す。

西尾では、**あいちスーパーイングリッシュハブスクール**^{※4}や**西尾学**^{※5}の取組をベースに、中学校段階から**グローバル**^{※6}な探究学習に取り組み、**国際バカロレア**の導入を目指す。



※第一次導入 (令和7年4月開校) 中学校名表記例: [正式] 明和高等学校附属中学校 ▶ [略] 明和附属中学校
 ※第二次導入 (令和8年4月開校) 中学校名については仮称

地域の教育ニーズ対応型

日進では、多様な学び方が必要な(不登校経験のある)生徒、衣台では、外国にルーツのある生徒、美和では、地域連携強化にそれぞれ対応する。

R8 4月開校

高校で取り組んでいる、「学び直し・少人数・個に応じた指導」を生かし、**多様な学び方が必要な(不登校経験のある)生徒**の能力、可能性を引き出す。



R8 4月 連携型選抜^{※7}等による生徒入学開始

外国にルーツのある生徒の能力、可能性を引き出すために、母語・母文化にも焦点をあてた教育に、大学とも連携して取り組む。



地域連携センター(美和校マインド)の実績を生かし、あま市・大治町等の**地域を支える人**を育てる。

高度ものづくり型

愛知総合工科では、中学校段階からものづくりに触れ、中高6年間(専攻科を含むと8年間)でDXをリードする人材を育成する。

R8 4月開校

本県唯一の理工科を設置している高校の環境を生かし、**データサイエンスやものづくり**に興味・関心をもつ生徒の能力、可能性を引き出す。



【図の見方】

- ➡ **【併設型】** のため入学者選抜等は行わず、併設する高校へ進学する。
- ▶ **【連携型】** のため**連携型選抜等**を実施して、高校へ進学することが可能である。

「中高一貫教育の導入」へのアクセスはこちら

あいちの学び推進課  検索

中高一貫教育の導入 【愛知県教委HP】 

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/aichi-manabi/>